

## 第22回長野運転協定期委員会開催！



2010年1月16日(土)長野国労会館において第22回長野運転協議会定期委員会が開催されました。定期委員会は松木副議長(松本運輸区)の開会挨拶で始まり、委員・役員全員の参加を確認し、座長に東福寺委員(長野運輸区)を選出、以後座長の進行によって進められました。挨拶に立った長野運転協・坂本議長、今年は予想に反して長野でも大雪となり、雪害対策が待ったなしとなっている。安全・安定輸送を心掛けている中、指令のミスで雪のため動けなくなった列車の上り下りに、列車を止めたためラッセル車が入れなくなる事態を招く事故があった。また、積もった雪の除去作業のため、き電停止作業でもスムーズにいかず、

連絡体制等、検証しなければいけないことが多々ある、検修の全面的な外注化提案に対しては、ここ長野では、様々な運動に取り組んできた。特に、工作協議会と合同で対策会議の開催や、合同での学習会にも取り組んだ。今後、地方事案として支社から提案を受けるときの準備をしていく。との力強い挨拶がありました。

来賓として長野地本・太田副委員長・粕尾業務部長が参加され、代表して太田副委員長が3点にわたって挨拶を述べられました。

- ①運転協議会に対する日頃の取組みに対して御礼と職場で要求を力に運動を推し進めていることに対して敬意を表します。
- ②1047名不採用事件に対しての情勢では、政権が変わり解決の道が近づいてきている期待感はあるが、他力本願では解決の道は開けない。国労として、なんとかして解決をなすため、長野でも積極的な運動に取り組んでいく。
- ③組織拡大では、昨年4名の拡大がありその中には新規採用者も含まれている。今年も皆様のご協力の下頑張って拡大を勝ち取っていききたい。これが国労の力になる。以上の挨拶がありました。



東日本運転協議会からは木立議長が参加し、挨拶を受けました。

昨年10月29日の検修外注化提案から現在までの運動について経過報告の後、これからの取組みについて述べ、その中でなぜ、会社がこのような施策を出してきたのかの背景にも触れた話が出された。

エリア本部・運転協は第二次解明要求を作り、1月末をメドに会社側に申を出す準備を進めている。提案では今年4月以降となっているが、4月以降エルダー社員になる人たちの行き先がまだ出ていない状況のなかで、会社は急いでいるように見えるが、期日にとらわれず解明交渉を続けていく。

今後の動きとして、36締結問題・ダイヤ改正交渉・春闘・設備メンテでの見直し提案等々問題が山積みの状態になっている。このような中での解明交渉となる。

ダイヤ改正問題では、「東日本乗務員勤務プロジェクト会議」がまとめた3点にわたる要求を各地方でも基本要素として出して交渉をしてほしい。3年前に出した「申」がそのままになっている。地方からの声は力になる。

また、ダイヤ改正を口実に外注化の先取り行われるかもしれない。注意を払って提案を見てほしい。委託時に要員はそのままの回答をしているが、委託前に要員に手をつける可能性もある。との発言がありました。

その後、羽生田事務長から運動方針（案）の一括提案があり休憩を挟んで、討論に移りました。発言では、多くの方から意見・質問が出されました。



（貨物職場から）

ダイヤ改正では委託した業務を本体に戻すという提案があるが、委託会社は儲けが出ない業務は請負わない。貨物でも検修部門の外注化がされているが、どこで歯止めをかけるか。法令上からも考えていかなければならないのではないかと。JR本体からの請負額が減らされれば、委託会社はまず人件費に手をつける。（要員を削減）儲けを第一に考えている結果だ。プロパー社員と出向社員の賃金格差をどうするか。国労は少数派だが何が出来るか。撤回ばかりではない議論を。



（車両センター等から）

検修外注化に対して分会としても集会を開き、解明要求を作ってきた。貨物メンテ実施には2年かかった。

この間、工務協から講師として来て頂いて学習会を開催してきた。最低の労働条件を決め、これ以下では断固闘うという意思統一を。安全の確保の見地から歯止め対策を。

指揮命令系統の混乱が考えられる。出向先の会社の労働条件向上につながるのではないかと。

今でも、異常時は派出に明確な指示が無い。こちらから確認している状態。委託した時はどうなるのか心配である。

（運輸区）

乗務員で、「うつ病」が増えている。（ストレスがたまっているのか）要員がいらないため、予備勤務でも休日勤務があるようになった。居流し行路が多いことから、職場に何泊もすることになる。

意見・質問を受け、羽生田事務長からまとめとしての発言をうけ、地本及び運転協からは質問の部分に対する発言がありました。

出された方針（案）には、全員の拍手で確認し合いました。

役員人事では、今年は全員留任ということになり、最後に坂本議長の「団結ガンバロー」で終了となりました。

長野運転協の皆さん共に力を合わせて頑張りましょう！



役員は留任です、今年一年よくお願いします！